

サステナビリティ

環境 ENVIRONMENT

当社は経営理念である「からだにやさしい未来の医療を築く」ことを通して、持続可能な社会の実現を目指すことを目的に、2022年4月にサステナビリティ基本方針を策定しました。

サステナビリティ基本方針

人々に役立ち喜ばれる製品を創造し提供する

従業員の生活を豊かにし、働きがいのある職場をつくる

企業の持続的成長に不可欠な多様な人材の発掘・登用・教育・育成に努める

環境へ配慮した事業運営を目指す

創造性、意外性、感動性ある製品を創出する

安全に安心して使っていただける製品の提供、責任ある調達に努める

この基本方針に則り、自社の重要課題を4つに分類し、それぞれに取組事項を決定しました。

サステナビリティの取組み



省エネ活動の推進

ハイブリッド車導入、省電力、省エネの取組み



当社は2012年より営業車をハイブリッド車へ切り替えており、一部寒冷地を除き導入が完了しております。これにより、ガソリン使用量の抑制、CO2排出量の環境負荷を低減させております。

また、ほぼ全ての事務所をLED照明に変更し、電気使用量の削減に貢献しております。そして北海道の生産拠点では電力のデマンド監視システムを設置し、無駄な電力消費を抑える仕組みを導入しており、今後、さらなる省エネルギーの実現に向け取組みを強化して参ります。

循環型社会の実現

無水エタノールの再利用、酸化エチレン排出量削減の取組み



当社は循環型社会の実現に向け、製造工程で発生する廃棄物の削減を目指し、「リサイクル」と「抑制」に継続的に取り組んでおります。

まず「リサイクル」につきましては、当社は製造過程で製品の清拭に多量の無水エタノールを使用しておりますが、一部の生産拠点にて蒸留装置を導入し、再利用を行っております。これにより、年間800ℓの無水エタノールを削減し、廃棄物処理過程で生じる環境負荷を減らしております。当社は、この取組みを全生産拠点に広げることで、効果の拡大を図って参ります。

また「抑制」につきましては、当社は医療機器の滅菌方法として一般的なエチレンオキシドガス（EOガス）を用いて、製品の滅菌を行っておりますが、EOガスは人の健康や生態系に有害な恐れのある化学物質に指定されているため、製造過程で排出されるガス量につきましては、国への報告が義務付けられております。



当社は今後、国が示す排出基準に適合するEOガス排出処理装置への投資を行い、2026年3月までにガス排出量削減を目指して参ります。

輸送手段の効率化及び包装資材の削減

製品のまとめ配送による配送の効率化と廃棄段ボールの再利用



物流拠点からお客様に配送している製品について、当社は一定期間のご注文分をまとめて配送する、輸送手段の効率化を一部で実施しておりますが、働き方改革関連法施行による「2024年問題（運送ドライバーの不足）」を念頭に、この取組みを全国規模に拡大させ、さらにCO2排出量の環境負荷の低減を目指して参ります。

また、緩衝材の見直しを行うことにより、包装資材の削減を目指し、さらなる環境負荷の低減を図って参ります。

人的資本 HUMAN CAPITAL

女性の活躍

女性総合職比率の増加と教育訓練

当社は女性活躍推進のため、女性従業員の一般職から総合職への転換及び新規の女性総合職採用を増やし、教育体制を強化しております。これらの取組みにより将来的な女性管理職の増加と、社会課題である男女賃金格差の縮小にも繋がって参ります。

今後は、女性活躍推進に関する情報開示の充実を図るとともに、当社の組織力強化と社会貢献を目指して参ります。



外国人の活躍

グローバル人材の採用促進と情報開示の充実

当社は中国及びベトナムに生産・販売の関連会社がございますが、これらの外国人幹部職員を本社へ雇用転換を行い、多様性の確保に努めております。

今後、当社ホームページ等を通じて、関連会社を含めたグローバル人材の活躍について情報発信を行うとともに、多様なバックグラウンドを持つ人材のネットワークや異なる視点からのアイデアを取り入れることで、組織の活性化につなげて参ります。



健康経営の取組み

評価機関を活用した体制の強化

当社は従業員の健康促進を重要な経営課題と位置付けており、2023年9月に「健康経営宣言」を公開するに至りました。今後、健康経営に関する取組みを強化すべく、産業医や健康保険組合との連携を強化し、各種健康対策として、健康診断結果を基にした対象者への面談や健康指導を行う予定としております。

柔軟な勤務形態と研修制度の充実

当社は従業員の働き方に配慮した勤務制度としており、リモートワークの制度化や法定以上の育児時短勤務制度の導入しております。また、通信教育を活用した社内研修を実施し、希望する職員にはオンラインでMBA基礎科目を学べるシステムも導入しております。

ガバナンス GOVERNANCE

社会貢献活動への出資

日本学生支援機構ソーシャルボンド、神奈川県グリーンボンドへの出資

当社は日本学生支援機構が奨学金事業により発行するソーシャルボンド、また、神奈川県が自然災害の対策として発行する神奈川県グリーンボンドへの出資を行いました。これらの出資により、当社資金の一部が、社会課題解決や環境への配慮を行う事業に使用されることで社会貢献活動への寄与に繋がりました。



外部評価機関の受審と今後の活動への展開

横浜市SDGs認証 (Y-SDGs) の取得



当社は2023年6月に、第三者の評価機関として横浜市SDGs認証制度 (Y-SDGs) の受審を行い、Standardの認定を受けました。Y-SDGsとは横浜市に拠点を持つ事業者を対象としたSDGsの取組みを評価する制度です。Y-SDGsの受審を通じ、持続可能な社会の実現に向けた取組みの立案を行って参ります。

製品の安全性 PRODUCT SAFETY



安全な製品の提供と患者様QOLに配慮した製品開発

ISOに準拠した製品提供と在宅医療における社会課題解決のための製品開発

当社は全ての生産拠点において、医療機器に特化した品質マネジメントシステムであるISO13485を取得しております。また、グループ全社で内部品質監査やリスクマネジメント活動等の総合的な品質管理の向上にも取組み、海外で必要な法規制等にも適合した生産体制を構築しております。



開発面では、介護分野における患者様のQOL向上に資する製品開発を行っており、特に排尿をコントロールできない女性患者様向けに開発されたピュールキヤスは、機能性だけではなく女性が使用しやすいデザイン性も評価され、神奈川県が審査する「神奈川なでしこブランド」に認定されました。